# TC 46/SC 4 総会　会議記録

場所：Library of Congress , Washington, D.C. USA

日時：2014年5月7 日（水）9:00-12:00　＊実際は9:15-12:45

参加者：フィンランド3（議長Juha Hakala、SC4事務局2）、デンマーク2（Leif Andresen、Preben Nielsen)、オーストリア（Galinsky: TC37）、英国1（Ed Davidson）、カナダ2（Clare MacKeigan、他1人）、イタリア1（Monomi Paolo）、スウェーデン1、米国3（NISOのTodd, LCのSally McCallum、他1人）、オーストラリア1、日本2、韓国2、フランス3

オブザーバー参加者：オーストラリア（SC11議長）、米国1（IETFのJohn）、中国1、他数人

1. Opening of the meeting

2. Roll call of delegates

3. Adoption of the agenda (N929)

Directivesの変更点について，CSのMary-Louが来ていないので，12.Other Businessのところでpptの紹介だけする。

4. Appointment of the drafting committee

米国（Todd），フランス

5. Approval of the 2013 meeting report (N880)

特に問題なく承認。

6. Action items from the previous meetings

6.1 MEDONA, the French national standard providing a model for data exchange in archiving

AFNORが、2013年にフランスの国家規格となったMEDONA(Data Exchange Model for Archiving)を紹介するプレゼンテーションを行った。MEDONAは、アーカイビングのためのデータ交換モデルで、前回のパリ大会でも情報提供がなされていたものだが、今回のプレゼンの結果、ISO化に向けて動き出すことになった。METS等の既存規格（特にISO規格）との関係整理やSC4とSC11との間での調整、ISO規格としてのスコープ設定等について検討の必要性が指摘された。AFNORが、フランスの国家規格を基にNWIPのドラフトを作成することになった。　⇒[Resolution 2014-1]

7. Report of the Secretariat (N912 and Voting Report N916)

議長が説明し、承認された。

8. Working Group reports and work item reporting

8.1. Working Group reports

8.1.1 TC 46/SC 4/WG 11 RFID in libraries, Leif Andresen (N913)

　WG11の規格出版後の継続、現コンビーナの退任と新コンビーナの指名が提案され、承認された。⇒[Resolution 2014-4]

8.1.2 TC 46/SC 4/WG 12 WARC, Clement Oury (N914)

　議長がコンビーナからのレポートを代読した。

8.1.3 TC 46/SC 4/WG 13 Cultural heritage information interchange, Nicholas Crofts (NXXX)

同規格は、現在、出版プロセスにある。コンビーナからレポートの提出はなかった。

8.1.4 TC 46/SC 4/WG 14 Interlibrary Loan Transactions, Leif Andresen (N915)

　WG14の規格出版後の継続が提案され、承認された。将来の改訂準備のためのWG継続の必要性について、質疑応答がなされた。⇒[Resolution 2014-5]

8.2. Work Item reports

8.2.1 ISO 10160 and 10161, Juha Hakala

旧いILL Application Protocol規格。マイナーリビジョンを行ってのFDIS投票がはじまった，との紹介が議長よりあった。8.2.2 Activity Report of JWG for EPUB (N917) and report from ISO 639 JWG meeting

　JWG for EPUBは、JTC1/SC34におけるTS化が止まった状態である。連携相手であるIDPFとの今後のメンテナンスに関する協議が，ISO/CSの担当者が変わった後進展しなくなったことによる。JWGの目的はMETSをEPUB 仕様の中で使えるようにするプロファイルの作成であるが，これも，TS化の遅れによって進展がない。この件については，議長としてISO中央事務局と話し合う必要があると考えている。⇒[Resolution 2014-6]

　言語コードISO639の JWGは、ベルリンで行われるTC37大会でワークショップを開催する予定である。また，TC46/SC4からJWGのコンビーナを指名するよう動くことが提案された。⇒[Resolution 2014-7]

9. Registration Agency and Maintenance Agency Reports

9.1 ISIL Registration Authority (ISO 15511) Danish Agency for Culture (N918)

ISILのRAは、現在26。新規追加はなかったが、今後は増やしたいと考えている。

9.2. Maintenance Agency ISO 23950 (NXXX)

ほぼ安定状態であり，動きはない。関連して議長より，SRUのIS化を近い将来考えている旨の表明があった。

9.3. ISO 639 RAs, Library of Congress (N919)

639-1は安定化を目指している。639-3には約30の登録が行われた。

10. Liaison organisation reports

10.1 Dublin Core Metadata Initiative ISO 15836, Leif Andresen (N920)

　DCMIの活動報告があったのち、議長からダブリンコアのISO規格化について次のとおり進める計画があることを説明。5年ごとの定期見直しの際に、既存ISO15836を拡張し、Dublin Core Metadata Element SetをPart1として、DCMI Metadata TermsをPart2として策定する。ファーストトラックで規格化したい。10.2 INFOTERM, Galinsky

最近の標準化に関する話題として，1)言語文化の多様性と電子的なアクセシビリティ，2)言語産業（language industry），3)著作権隣接権と権利のコード化などに取り組んでいることが紹介された。特に、著作権保持者や利用制限に関するメタデータについては、他の参加者からも興味が示され、Europeanaやフィンランドの事例が紹介された。

11. National Body reports

ANSI/NISOから、NISO規格として、OAI-PMHが本日（2014年5月7日）出版されたことが報告された。

12. Other business

ISO/CSのMary-Louの用意したdirectivesの変更に関する文書，What new in ISO［PPT］（N930）が代読された。

13. Future Meeting Schedule

次回会議は、2015年6月北京での開催を予定。

14. Approval of Resolutions

以下の概要の決議案が検討され、全て承認された。

[Resolution 2014-1]

SC4は、AFNORに対して、フランスの国家規格であるMEDONAと既存のISO規格（特にISO/TC46/SC11関係の規格）との関係をレビューするよう求める。SC4は、AFNORに、MEDONAを基にNWIPドラフトを作成しSC4へ提出することを勧める。SC4の議長と事務局は、AFNORのMEDONAに関する代表者およびTC46/SC11の代表者と会合し，このプロジェクトにおけるSC11との協力・相互関係について議論を行う。

[Resolution 2014-2]

SC4は、WG7－Data elementsを解散する。

[Resolution 2014-3]

SC4は、WG 10 –XML Holdings Schemaを解散する。

[Resolution 2014-4]

Leif Andresen のWG11 – RFID in Librariesのコンビーナとしての貢献に感謝するとともに、W11の新コンビーナ（2014年5月～2017年5月）としてPreben Aagaard Nielsenを指名する。SC11は、ISO28560の将来的な開発と維持管理のために、WG11を継続する。

[Resolution 2014-5]

SC4は、ISO18626 - Interlibrary Loan Transactions の出版後もWG14を継続させ、ISO18626の必要な改訂に資するために、運用状況の支援・収集・評価を行う。

[Resolution 2014-6]

SC4事務局と議長は、ISO/IEC TSとしてIDPF EPUB を出版できるように、JWGの作業が進む方策について、TC46の事務局およびISO中央事務局と話し合いを行う。

[Resolution 2014-7]

SC4は、JWG において、TC37/SC2がTC37/SC2/JWG7の管理的役割を果たすこととTC46/SC4がコンビーナを指名することを勧める。SC4はコンビーナの候補者を挙げ、その承認はTC46/SC4とTC37/SC2の両方で行う。

[Resolution 2014-8]

SC4は、IETFにAリエゾンとしてSC4と提携することを勧める。SC4事務局は、ISO中央事務局と協議してこのリエゾンの確立を行う。

[Resolution 2014-9]

SC4は、NISO、ANSI、米国議会図書館、米国国立公文館と今回会議のスポンサーに感謝する。

[Resolution 2014-10]

次回のSC4総会は、2015年6月に中国北京で行われるTC46総会に合わせて開催する。